証券コード●4559

第61期

中間株主通信

平成26年4月1日～平成26年9月30日

Contents

株主の皆様へ……P.1
営業の概況(連結)……P.3
通期の見通し／研究開発の状況……P.5
研究開発パイプライン……P.6
株主様ご優待のお知らせ……P.7
財務諸表(連結)……P.8
会社情報……P.9
株式情報……P.10
株主メモ

ゼリア新薬
ZERIA

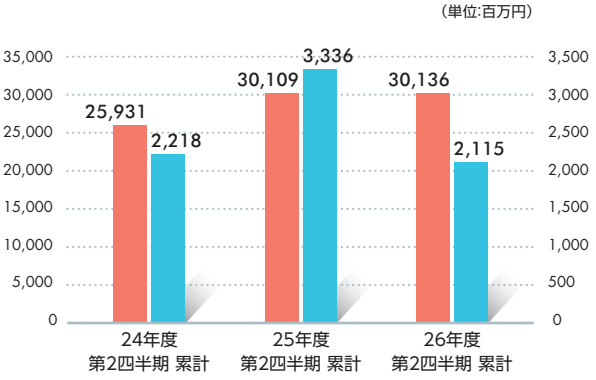
株主の皆様へ

代表取締役会長兼CEO
伊 部 幸 顕

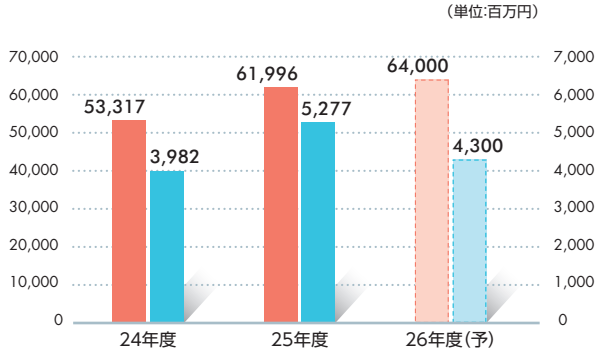
代表取締役社長兼COO
伊 部 充 弘

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第61期中間（第2四半期連結累計期間）の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

売上高（■:左目盛）／四半期純利益（■:右目盛）



通期売上高（■:左目盛）／当期純利益（■:右目盛）



当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動とともに、夏場の天候不順、円安基調を背景とした輸入物価の上昇等の影響による消費者マインドの低迷もあり、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、本年４月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、依然として国内需要の前年割れの状況が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、301億36百万円（前年同四半期比0.1％増）となりました。

一方、利益につきましては、昨年６月に発売しました世界初の機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®錠100mg」の疾患概念の医師や医療機関への浸透が未だ不十分で、「アコファイド®」の計画が大幅未達となる中で、ライセンス及びロイヤリティ収入が減少したこと、さらに研究開発費や広告宣伝費などの経費が大きく増加したことなどから、営業利益22億79百万円（前年同四半期比43.9％減）、経常利益22億40百万円（前年同四半期比46.9％減）、四半期純利益21億15百万円（前年同四半期比36.6％減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、16.2％（前連結会計年度13.4％）となりました。

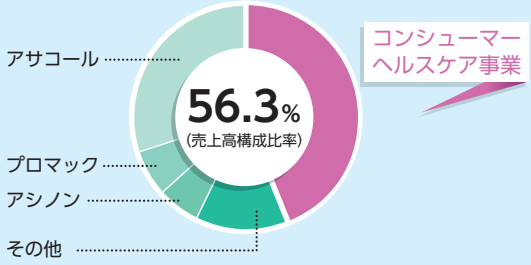
医療用医薬品事業

売上高

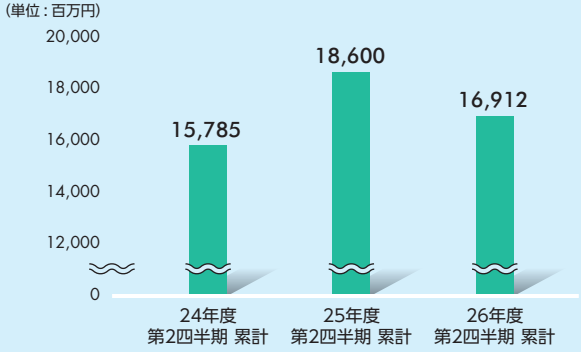
169億12百万円（前年同四半期比 ▶ 9.1%減）

主要製品売上高

アサコール	90.3億円
プロマック	20.4億円
アシノン	18.1億円



医療用医薬品事業連結売上高



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、海外におきましてはTillotts Pharma AG（以下ティロッツ・ファーマ）の自販体制の強化を通じ、引き続き売上を拡大いたしました。一方、国内におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、増収は確保したものの売上の伸びが鈍化いたしました。また、H_2受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品は、本年4月の薬価改定や後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。昨年6月発売の機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®錠100mg」につきましては、早期の市場構築に努めておりますが、その進捗は計画対比では遅れる状況となっております。

以上の結果、当事業の売上高は、169億12百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

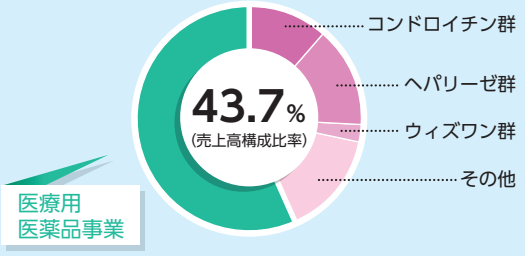
コンシューマーヘルスケア事業

売上高

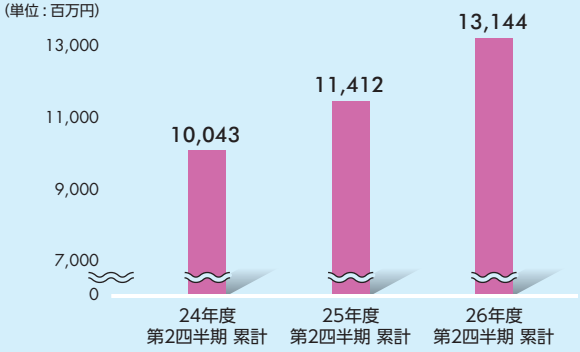
131億44百万円（前年同四半期比 ▶ 15.2%増）

主要製品売上高

ヘパリーゼ群	43.5億円
コンドロイチン群	34.6億円
ウィズワン群	7.6億円



コンシューマーヘルスケア事業連結売上高



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMをはじめ多様なメディアを活用した広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W群」は、夏場の天候不順の影響により計画は下回ったものの、前年度に引き続き売上を大きく拡大しております。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、順調に売上を拡大いたしました。また、日本で初めて月経前症候群の効能を取得した西洋ハーブ・ダイレクトOTC医薬品「プレフェミン®」（要指導医薬品）を平成26年9月に発売いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、131億44百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

通期の見通し／研究開発の状況

通期の見通し

国内医療用医薬品事業における厳しい状況は第3四半期以降も継続するものと考えられることから、売上高につきましては当初の予想は下回るものの、前期比増収となる見通しです。

一方、利益面につきましては、第3四半期以降、研究開発費や広告宣伝費などの販売費及び一般管理費の増加が見込まれるため、当初の予想を下回る見通しです。

これらの結果、売上高640億円(前期比3.2%増)、営業利益50億円(前期比26.4%減)、経常利益50億円(前期比26.5%減)、当期純利益43億円(前期比18.5%減)を見込んでおります。

	第60期	第61期(予想)
売上高	619億96百万円 (前期比 16.3%増)	640億円 (前期比 3.2%増)
営業利益	67億90百万円 (前期比 47.3%増)	50億円 (前期比 26.4%減)
経常利益	68億03百万円 (前期比 45.5%増)	50億円 (前期比 26.5%減)
当期純利益	52億77百万円 (前期比 32.5%増)	43億円 (前期比 18.5%減)

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、平成25年6月に世界に先がけて国内で販売を開始した、自社オリジナル品で世界初の機能性ディスペプシア治療剤「Z-338(アコファイド®)」の欧州におけるフェーズⅢを実施しております。「Z-206(アサコール®)」は潰瘍性大腸炎について協和発酵キリン株式会社と共同で用法用量を追加するフェーズⅢを実施しております。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験を開始いたしました。「Z-360」につきましては、膵臓癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験を実施しております。

平成25年7月にスイス・Vifor (International) AGから導入しました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、フェーズⅠbを開始いたしました。平成26年8月にエーザイ株式会社から導入した長時間作用型プロトンポンプ阻害剤「Z-215 (E3710)」につきましては、臨床試験の準備を進めております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、ティロッツ・ファーマより導入し製造販売承認申請中である西洋ハーブ製剤「コルペルミン®」をはじめとして、十数品目の開発を進めております。

研究開発パイプライン

新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

（平成26年11月10日現在）

1）消化器系分野

開発段階	開発番号／一般名	開　発	適　応　症	作用機序及び特長	備　考
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 （協和発酵キリン）	潰瘍性大腸炎 アサコール®用法用量追加	pH依存型放出調整製剤	自社（Gr）品
フェーズⅡ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK$_2$受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験
臨床準備中	Z-215	自社	酸分泌関連疾患	長時間作用型 プロトンポンプ阻害剤	導入品

2）その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開　発	適　応　症	作用機序及び特長	備　考
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅠb	Z-213/Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開　発	適　応　症	作用機序及び特長	備　考
承認申請中 （中国）	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma AG)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社（Gr）品
フェーズⅢ （欧州）	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ （アジア）	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 （北米）	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ （アジア）	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK$_2$受容体拮抗作用	自社品

自社（Gr）品：自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ（第Ⅰ相臨床試験）

動物実験を終えて効き目（有効性）と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ（第Ⅱ相臨床試験）

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）、投与量、投与方法などの適切な使用方法を※プラセボと比較しながら調べます。

フェーズⅢ（第Ⅲ相臨床試験）

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目（有効性）、副作用（安全性）、及び使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、※プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ　有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。
当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～E、5つのコースからご希望のいずれかを、
100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはFコースをお届けいたします。
ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」

B コース

健康飲料
「コンドロビー® 濃縮液潤甦®（じゅんこう）」
2本セット

C コース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アポスティー®セット」

D コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC®（ジージー・シーシー）
アドソーブエッセンス（30g）」2本セット

E コース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」

F コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク
「ヘパリーゼ®W」10本

財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	**50,133**	**49,902**
現金及び預金	20,068	22,202
受取手形及び売掛金	16,558	15,484
商品及び製品	4,475	3,771
仕掛品	1,184	1,163
原材料及び貯蔵品	2,703	2,798
その他	5,155	4,491
貸倒引当金	△11	△10
固定資産	**46,124**	**49,591**
有形固定資産	**21,726**	**21,952**
建物（純額）	6,896	7,037
土地	11,576	11,578
その他（純額）	3,253	3,336
無形固定資産	**12,609**	**13,250**
投資その他の資産	**11,789**	**14,387**
投資有価証券	7,380	10,544
その他	4,454	3,891
貸倒引当金	△46	△47
資産合計	**96,258**	**99,493**
[負債の部]		
流動負債	**23,102**	**25,953**
支払手形及び買掛金	2,622	3,718
短期借入金	13,069	12,593
その他	7,410	9,641
固定負債	**13,161**	**14,806**
長期借入金	12,528	13,867
退職給付に係る負債	160	154
資産除去債務	74	73
その他	398	710
負債合計	**36,264**	**40,759**
[純資産の部]		
株主資本	**56,053**	**54,025**
資本金	**6,593**	**6,593**
資本剰余金	**12,716**	**12,716**
利益剰余金	**36,746**	**34,717**
自己株式	**△3**	**△2**
その他の包括利益累計額	**3,940**	**4,709**
純資産合計	**59,993**	**58,734**
負債純資産合計	**96,258**	**99,493**

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	当第2四半期累計期間 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期累計期間 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで
売上高	**30,136**	**30,109**
売上原価	**9,429**	**8,793**
売上総利益	**20,710**	**21,304**
販売費及び一般管理費	**18,430**	**17,243**
営業利益	**2,279**	**4,060**
営業外収益	**206**	**304**
営業外費用	**244**	**142**
経常利益	**2,240**	**4,223**
特別利益	**975**	**608**
特別損失	**6**	**0**
税金等調整前四半期純利益	**3,209**	**4,831**
法人税等	**1,094**	**1,497**
少数株主損益調整前四半期純利益	**2,115**	**3,333**
少数株主損失（△）	**—**	**△2**
四半期純利益	**2,115**	**3,336**

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	当第2四半期累計期間 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期累計期間 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,372	1,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,756	△877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,655	△2,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△212	520
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,484	△662
現金及び現金同等物の期首残高	22,070	7,235
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	343	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,928	6,572

会社情報（平成26年9月30日現在）

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,447名（連結）
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

役員

代表取締役 会長兼CEO	伊部幸顕
代表取締役 社長兼COO	伊部充弘
取締役副社長	遠藤広和
専務取締役	降旗繁弥
常務取締役	菅幹雄
常務取締役	森山茂
常務取締役	岸本誠
取締役	大野晃
取締役	林恭弘
取締役	深堀勝博
取締役	平賀義裕
取締役	石井克幸
取締役	加藤博樹
取締役	横手秀和
取締役	河越利明
常勤監査役	花田雅彦
常勤監査役	高見幸二郎
監査役	小森哲夫
監査役	中由規子

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川第1・第2営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所　青森・宇都宮・関越・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社　11社

- Tillotts Pharma AG
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- ZPD A/S
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- Tillotts Pharma AB
- Tillotts Pharma Ltd
- Tillotts Pharma UK Ltd
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.
- Tillotts Pharma GmbH

株式情報（平成26年9月30日現在）

株式の状況

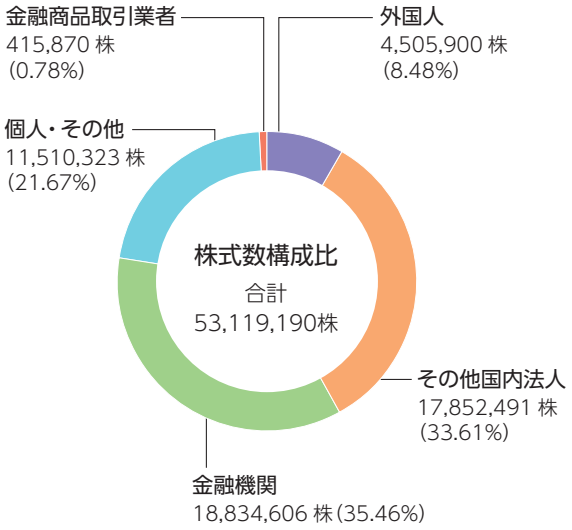
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	7,509名

大株主

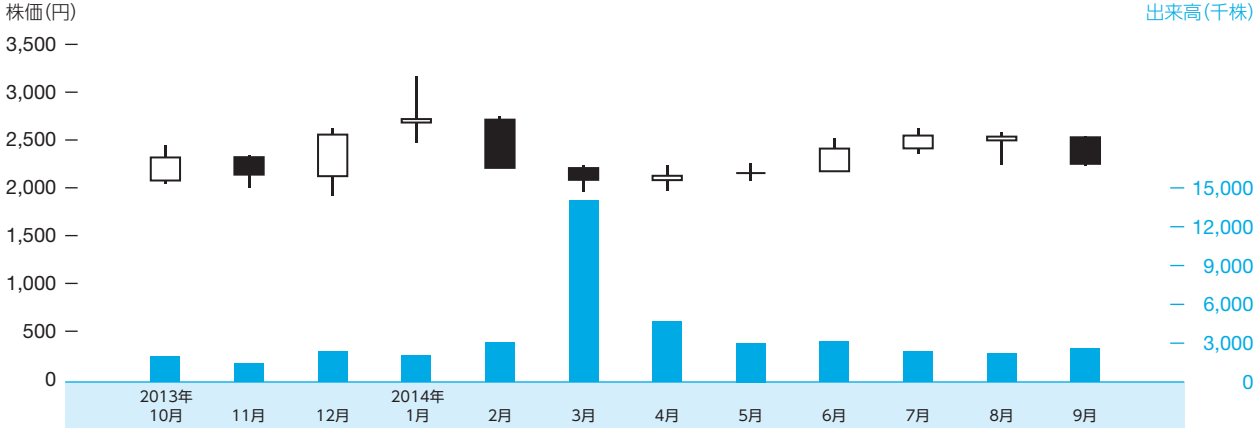
株　主　名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	8.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,892,200	5.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,107,050	4.0
森永乳業株式会社	2,040,215	3.8
伊部幸顕	1,592,967	3.0
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,533,021	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,477,900	2.8
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.6
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.6
CMBL S.A. RE MUTUAL FUND	1,211,400	2.3

(注)出資比率については、自己株式(3,031株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
  株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
  なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
  株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **「配当金計算書」について**
  配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
  なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

http://www.zeria.co.jp/

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）　FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
http://www.zeria.co.jp/

健康づくりは幸せづくり
ゼリア新薬
ZERIA